

生き物教室 ～秋・冬～

今年度は「生き物教室」を年間2回（秋・冬）開催しました。有馬富士学習センターから、生物や植物についての専門的な知識をお持ちの先生をお招きし、幼稚園・低・中学年の児童を対象に、学校や母子の里山を散策し、植物や生き物の観察や採集を行いました。



秋の生き物教室

9月16日（水）

「おしおしペナントレース」を開催しました。校庭や学校の横にある青野川付近でつかまえた生き物をみんなで観察し、仲間に分けてみました。いろいろな昆虫やカエルにとかげなどそれぞれの特徴を拡大鏡を使い、大型テレビに映し出して説明してくださいました。先生からは「これだけ多種多様な生き物が見つかるのは母子が自然豊かな証拠です。これからも自然を大切にして、いろいろな生き物を見つけていってね。」と話をいただきました。



冬の生き物教室 2月10日（水）

「土の中の生きもの観察」

寒風の中、学校の畑に行ってスコップで土や溝を掘り起こしたり落ち葉の下を探したりして、眠っている生きものや草木など様々なものを発見していました。「うわあ、大きなミミズ!」「何かわからないけれど、たくさん幼虫がいる!」といった子どもたちの元気な声が聞こえていました。そのあと多目的室で生き物を観察していきました。

年2回の生き物教室を通して、子どもたちは母子の自然に目を向け、改めてその素晴らしさを感じていたようです。虫が苦手と言っていた子どももいつの間にか夢中になっている様子や、採集した虫を拡大顕微鏡で見ることで生き物の不思議や魅力を再発見していました。